

未来に向かって
かがやく子

くすのき



やさしい子
たくましい子
すすんで学ぶ子

平成 28 年 10 月 26 日



実りの秋に



金木犀の香りただよう季節となりました。学校にあるザクロの木もかわいい実を付けています。

先週は、6年生が1泊2日で修学旅行に行ってきました。本物に触れることで学びを、集団活動をする中で仲間との絆を深めることができました。また、4年生教室からは、毎朝すてきな歌声が響いてきています。総社市の小中音楽会まで三週間を切り、練習にも熱が入ってきました。様々な行事や学年での活動が計画されているこの2学期、子ども達が主体的に活動に取り組むことで、子ども達にとっても実りの秋となることを期待しています。

地域のあいさつボランティアの方とともに
あいさつ運動を！！

目指す子ども像の一つ「やさしい子」の育成に向けて、「あいさつ」と「思いやりの心の実践」に重点をおき教育活動を行っています。

知っている人ばかりで安心できる学校ではあいさつがよくできるのですが、地域ではまだ十分できているとはいえません。そこで、10月より毎月1週目に、地域の方に「あいさつボランティア」として、子ども達のあいさつ運動に加わっていただくこととしました。地域の方とふれあう回数を増やすことで地域でもあいさつができる子どもを増やしたいと考えました。南西と南東の歩道橋のところ、北西の門、ピロティーの4カ所に子どもの登校時、あいさつボランティアの子どもと共に立っていただいています。また、本校のあいさつ目標「大きな声で、すすんで、顔を見て」を旗にして4カ所に立て意識化も図っています。保護者の皆様も地域において声掛けをしていただく等のご協力ををよろしくお願いいたします。自分から人との関わりを持とうとする子どもを育てていきましょう。



日曜参観・教育講演会・引き渡し訓練

昨年度の保護者アンケートで日曜に参観日をとのご要望がありました。そこで、より多くの保護者の方に子ども達の様子を見ていただきたいと考え、今年度、9月25日に日曜参観日を設けました。加えて、子ども達の安全確保のため災害時における引き渡し訓練も行いました。筒井愛知



先生による「テレビ・ゲーム・スマホのこわ〜い話 ー 便利で楽しい画面の中の、落とし穴ー」と題した教育講演会も行い、大変多くの方に参加していただきました。

お忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。

<子どもの感想>

- ・ゲームは土、日に1時間半というルールを決めました。頑張ります。
- ・テレビ・ケータイ・スマホを使いすぎると人との関係がうまくいかないなどいろいろな怖い話を聞いて、頼りすぎないようにしたいと思いました。
- ・便利だけど一歩間違えると危ないということ、便利の落とし穴で「読み取る力」「関わる力」「発信する力」「頼らない力」の大切さを学んだ。

<保護者の感想>

- ・スマホの普及が進んでいること、思った以上に動画サイト等との接触が多いことが分かり危機感を持った。便利なものがある現実是不変で、これから先もっと便利になっていくと思う。しかし、人として大切な関わる力や物事をやり抜く力等は変わらず必要なことなので、筒井先生の言われたように「自分力」を高め、道具に使われない人に育てていきたい。

総小フェスティバル 10/4(火)

今年度は、縦割り班で計画・準備等の活動に取り組むことで異学年交流を促進し、望ましい人間関係を形成する力を育てようと考えました。併せて委員会の自主的な活動も組み込み、自分の役割を果たし、協力してよりよい学校を作ろうとする実践的態度の育成もねらいとしました。



各縦割り班の6年生がリーダーとなり、1年生から6年生までが協力して準備をしたりお店を運営したりしました。フェスティバルの翌日には、ペア学年の人に書いた手紙を交換し、嬉しそうに読む姿が見られました。「縦割り班の中であまり話さない人とも話ができてよかった」との感想も聞かれました。

10月の品格目標は「ふるさと愛」

自分も「地域の一員」と思って行動していますか。

- 地域の人と笑顔でふれあいます。
- ふるさとのよさを感じ、美しい環境を守ります。